

2 避難時の8つの心得

日頃から避難に必要なものを用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておく、いざという時あわてずに避難できます。また、その時は、テレビや防災メール・まもるくんなどからの情報を確認し、一人で行動せず、必ずグループで行動するようにしましょう。

いざという時、あわてず、冷静に

POINT
1

安全な避難路の確認を



避難所までの経路（避難路）はあらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

POINT
2

非常持出品の事前準備



避難するときの荷物は必要なもののみとし、事前に準備しておきましょう。

POINT
3

正確な情報収集と早めの行動を



ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動することを心がけましょう。

POINT
4

避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、防災無線や市の広報車から避難の呼びかけをすることがあります。避難の呼びかけがあった場合には、それに従ってください。

POINT
5

お年寄りなどの避難に協力を



お年寄りや子ども、病人、障がいのある人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子ども、病人などの避難に協力しましょう。

POINT
6

動きやすい服装、2人以上での避難



避難するときは、動きやすい服装（浸水時には長靴ではなくスニーカー）で、2人以上での行動を心がけましょう。

POINT
7

車での避難は控えて



自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合をのぞきやめましょう。

POINT
8

足元に注意



浸水している場所を歩くときは、さぐり棒などを持ち、側溝や排水路に転落しないように注意してください。